

武庫川女子大学への現地見学会の実施

～六甲山系グリーンベルト整備事業における樹林帯整備について～

- 武庫川女子大学環境共生学部による社会連携プロジェクトとして、六甲山系グリーンベルトで構築した人工林の整備手法を学生の方に学んでいただくことを目的に、六甲砂防事務所の現地視察や講習を実施しました。
- 学生のみなさんが、今後同学部の実習を通して、大学の演習林を自らの手でつくり育てて行くため、当事務所の人工林を間近に見たり、森林の構築や管理に必要な情報収集を行っていただき、グリーンベルト整備が森林や生物の保全のみならず、土砂災害防止に役立っていることを実感してもらえました。

実施日時：令和7年10月17日（金） 13:30～17:15

対 象：武庫川女子大学環境共生学部（学生3名、教員4名）

実施内容：六甲砂防事務所の事業概要説明（講習）、神戸市東灘区渦が森見本林（現地視察）

六甲砂防事務所での講義の様子

【参加者からの質疑応答】

Q：六甲山系グリーンベルト整備事業の植林ではどのような樹種を選んでいますか？

A：落葉広葉樹のコナラやアベマキを主に調査結果から適した樹種を植樹しています。

Q：植林で土砂災害をどの程度防止できますか？

A：以前は1日の総雨量が300mmを超えると土砂災害の発生率が高まっていましたが、近年はゲリラ的豪雨が多発しており、より少量の降雨でも土砂災害が発生する危険性があります。

Q：砂防堰堤等土木構造物を造る際に、野生動物への影響は考慮していますか？

A：計画の段階で周辺の生態系の調査を行っています。



グリーンベルトの森林を維持発展することの難しさや大切さを知っていただけました！

見本林視察の様子

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所HP <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

